

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	特進一貫	国語	古典	理系	必修	2

講座のねらい

古文：物語・日記・随筆など多くのジャンルの古文に触れ、作者や作品の文学史上の知識、古典常識の知識の修得に努めます。助詞と助動詞を中心に、丁寧な口語訳を行い、古文読解の向上と作品の理解に努めます。

漢文：故事、寓話、漢詩、歴史的な漢文を読み、中国の歴史の背景や作品の持つ意味を学びます。漢詩の分類（絶句・律詩）や漢詩の技法（対句や押韻等）の知識をつけます。やや長めの漢文を読み、そこに現れる主な句形や重要語（漢字）のはたらきを理解し、正確な漢文読解が出来るようにします。

使用教材及び問題集

古文の教材：『改訂版古典B（古文編）』（数研出版）
『新修 古典文法』（京都書房）『重要 古文単語 315 三訂版』（桐原書店）
古文のワーク・プリント類
漢文の教材：『改訂版古典B（漢文編）』（数研出版）
『漢文必携』（桐原書店）
漢文のワーク・プリント類
共通の教材：『新版三訂 カラー版新国語便覧』（第一学習社）

授業の内容と進め方

古文：予習として、単元の原文をノートに書き写します。助詞と助動詞を中心に品詞分解を行います。難語句の意味を調べ、口語訳を行いましょ。授業は品詞分解と口語訳を中心に、指名しながら本文の読解を行います。単元終了後に演習問題を利用して、文法の理解や読解力を身につけるようにします。

漢文：予習として、単元の原文（白文）をノートに書き写します。教科書の訓読文を参考に、書き下し文を書きます。重要語を辞書で調べ、口語訳を試みましょ。授業では、指名読みの後、書き下し文を参考に、白文に返り点送りかなを施します。また、重要語や句形を中心に口語訳を行います。単元終了後の演習問題により定着を図ります。

講座の到達目標

古典文法や語彙、古文常識、漢文の句形や語句の意味を定着させ、センター試験や国公立大学二次試験を意識した学習を行います。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査を中心に、小テスト、課題やノートの提出状況、授業態度や発言内容などを加味し、総合的に評価します。提出物については、期限を厳守することを求めます。

備考

※提出物と課題：漢文と古文のプリントを課題として配布する予定です。課題や提出物は提出期日を厳守させます。内容や提出期日を成績に反映させます。

※単元演習：古文、漢文共に単元終了時に演習プリントを実施する予定です。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・十訓抄（鎌倉時代の説話） 「大江山」
- ・徒然草（鎌倉時代の随筆） 「あだし野の露」
- ・方丈記（鎌倉時代の随筆） 「ゆく河の流れ」

〈教科書内容・漢文〉

- ・故事・寓話 「漱石枕流」 「画竜点睛」

〈その他〉

入試対策問題演習
単元ごとに演習プリントの実施。
課題（古文・漢文）

2 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・伊勢物語（平安時代の歌物語） 「通ひ路の関守」
- ・枕草子（平安時代の随筆） 「すさまじきもの」
- ・大鏡（鎌倉時代の歴史物語） 「花山天皇の出家」

〈教科書の内容・漢文〉

- ・絶句 「勸酒」 「雨中登岳陽樓望君山」 ・律詩 「黃鶴樓」

〈その他〉

入試対策問題演習
単元ごとに演習プリントの実施
課題（古文・漢文）

3 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・源氏物語（平安時代の物語） 「光源氏誕生」

〈教科書内容・漢文〉

- ・先哲の思想

〈その他〉

入試対策問題演習
単元ごとに演習プリントの実施
課題（古文・漢文）